

麦づくり情報(No.4)



1. 麦作況情報田の生育概況(3月16日調査)

場所	品種名		播種日	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	主稈葉数 (L)	葉色	概況
大和	シロガネコムギ 6条播き	本年値	11/22	50.7	466	10.5	42.5	草丈は平年より高い。 茎数は平年より少ない。 葉令からみた生育は平年に比べ早い。 ※麦踏みと寒当たりの影響で 分けつ抑制がみられる。
		平年値	11/27	49.0	705	8.8	43.8	
		平年比	-5日	103	66	1.7	-1.3	
牛津	サチホゴールド 4条播き	本年値	12/9	42.3	1178	8.5	42.1	草丈は平年並。 茎数は平年より多い。 葉令からみた生育は平年に比べ やや遅い。
		平年値	12/7	43.2	920	9.3	43.1	
		平年比	+2日	98	128	-0.8	-1.0	

参考 農試作況データ(3月20日調査)

品種	播種期 (月/日)	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢 (L)	葉色 (SPAD)	概況 (平年・平均と比較して)
シロガネコムギ	11/21	本年	60.5	565	9.1	42.9	[気象] 2月28日~3月19日まで ◆平均気温…平年より2.5℃高い ◆日照時間…長い(平年比141%) ◆降水量…少ない(平年比55%) [生育] ◆草丈 12/9播種「サチホゴールド」で高い、12/1播種「はるか二条」で低い。その他は、平年並み。 ◆茎数 「シロガネコムギ」で少ない。12/1播種「はるか二条」でやや多い。その他は、多い。 ◆葉齢 12/1播種「はるか二条」でやや遅い。その他は平年並み。 ◆生育ステージ(次頁参照)
		平年	61.0	670	9.0	44.8	
		平年比(差)	99	84	+0.1	-1.9	
	12/9	本年	46.1	607	8.0	51.2	
サチホゴールド	12/1	本年	61.8	1187	9.9	39.2	◆草丈 12/9播種「サチホゴールド」で高い、12/1播種「はるか二条」で低い。その他は、平年並み。 ◆茎数 「シロガネコムギ」で少ない。12/1播種「はるか二条」でやや多い。その他は、多い。 ◆葉齢 12/1播種「はるか二条」でやや遅い。その他は平年並み。 ◆生育ステージ(次頁参照)
		2ヵ年平均	62.3	995	10.2	40.4	
		前年比(差)	99	119	-0.3	-1.2	
	12/9	本年	58.2	1089	9.0	39.6	
はるか二条	12/1	本年	55.4	977	9.7	44.7	◆草丈 12/9播種「サチホゴールド」で高い、12/1播種「はるか二条」で低い。その他は、平年並み。 ◆茎数 「シロガネコムギ」で少ない。12/1播種「はるか二条」でやや多い。その他は、多い。 ◆葉齢 12/1播種「はるか二条」でやや遅い。その他は平年並み。 ◆生育ステージ(次頁参照)
		2ヵ年平均	60.3	939	10.0	41.8	
		前年比(差)	92	104	-0.3	+2.9	
	12/9	本年	54.9	1020	9.1	45.3	
はるか二条	12/9	5ヵ年平均	54.7	861	9.0	43.0	◆草丈 12/9播種「サチホゴールド」で高い、12/1播種「はるか二条」で低い。その他は、平年並み。 ◆茎数 「シロガネコムギ」で少ない。12/1播種「はるか二条」でやや多い。その他は、多い。 ◆葉齢 12/1播種「はるか二条」でやや遅い。その他は平年並み。 ◆生育ステージ(次頁参照)
		平年比(差)	100	118	+0.1	+2.3	

気象概況

2月6半旬~3月3半旬の平均気温は平年比+1.6℃と高く推移した。降水量は、29.0mmで平年比43%と非常に少なかった。日照時間は平年の152%と多照で推移した。

生育概況

- ・11月中旬に播種された小麦は、現在止め葉が展開し、穂孕み期となっている。
葉色はやや薄い、生育は良好で、平年より早い生育となっている。
- ・11月下旬に播種した圃場では穂孕み期～出穂始め、12月上旬播種の大麦は穂孕み期を迎えている。
葉色はやや薄い、生育は良好で、平年並～やや早い生育となっている。

2. 今後の管理

◎近年、タンパク質含有率が低い傾向にある。品質確保のため、下記を参考に穂揃期追肥を施用する！

○穂揃期追肥

近年、麦の品質ランクにおいて小麦・大麦とも低タンパク傾向が指摘され、実需からは改善が求められている。下表を参考に散布する。また、小麦は製粉しないと利用できないため、生産するだけでなく、実需が望む品質（タンパク質含有率）に上げる必要がある。そのため、タンパク向上に直結する穂揃期追肥は必ず施用する必要がある。特にパン用小麦は、倒伏しそうでも必ず施用する。

葉色の褪め方にかかわらず必ず施用

品 種	窒素量 kg/10a	実肥の施用量 (/10a)
パン用 はる風ふわり	5	硫安 25kg または 尿素 12.5kg
パン用 さちかおり	7	硫安 30kg または 尿素 15kg
めん用 チクゴイズミ	3	硫安 15kg または 尿素 7.5kg

葉色が薄い場合（出穂期頃の SPAD 値 40 以下）施用

品 種	窒素量 kg/10a	実肥の施用量 (/10a)
シロガネコムギ	2	硫安 10kg または 尿素 5kg
大麦	2	硫安 10kg または 尿素 5kg

★穂揃期追肥は、出穂期の3日後が効果的。それ以降に施用する場合は増量が必要となる。

※出穂期：圃場内の4～5割の穂が出た頃

〈液肥利用の留意点〉

・肥料を溶かす際は、直接タンクに入れると溶けない場合があるため、事前にお湯等で溶かし、タンクに入れると濃度ムラがなくなる。

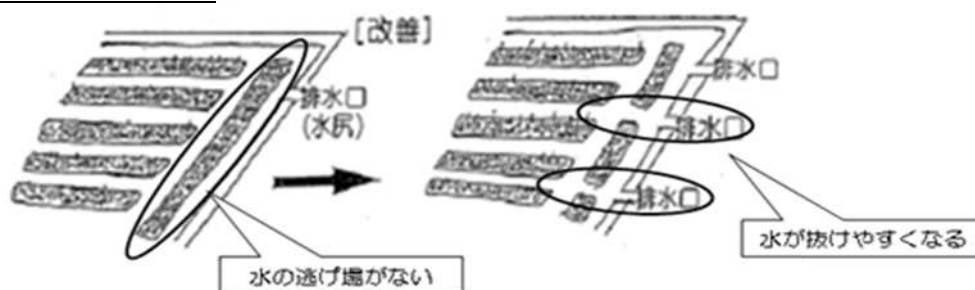
※硫安による液肥施用は難しいため、液肥利用の際は尿素を用いる。

・乗用管理機での施用の場合、赤カビ防除との同時施用も可能。ただし施用時期が遅くなるため、3～4割追加した量が必要になる。

・液肥施用後、葉先などに肥料焼けがみられるが、収量や品質への影響は小さい。

○排水対策

今後、降雨量が増えることが予測される。湿害により根の生育が抑制され、登熟に影響するため、排水溝を再整備するなど排水強化を行う。



3. 防除

網斑病・赤かび病は**予防が基本**（散布時期が遅れないよう各圃場の状況確認を行う）

◆赤かび病：はるか二条およびパン用小麦については、2回防除する

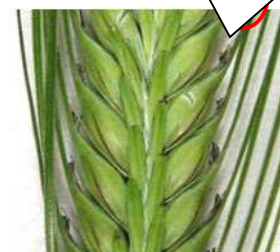
小麦

- ・開花期（＝出穂期の約7～10日後）に防除
- ・2回目の防除（1回目防除の10～20日後）

大麦

- ・薬殻抽出始め（＝出穂期の約2週間後）に防除
※多発生が予想される場合は2回実施（1回目防除7日後）
- ・トップジンM水和剤を使用する場合は、収穫前30日前までの使用となっているので注意する

大麦の芒（のげ）の下から
黒い**薬殻**が出る時期に防除



赤かび病の防除適期

麦種	予想される赤かび病の発生量	日数							
		全茎数の40～50%が出穂した日	出穂期	穂揃期	全茎数の80%が出穂した日	+15日	+20日	+25日	+30日
小麦	小～並発生			←→					
	並～多発生		←→	←→		←→			
大麦	小～並発生				←→				
	並～多発生			←→	←→	←→			

- 注1) 出穂期とは全茎数の40～50%が出穂、穂揃期とは全茎数の80%が出穂した日。
 注2) 小麦の開花期とは40～50%の穂が開花した日。
 注3) 大麦の薬殻抽出始めとは、50%以上の穂で薬殻が見え始めた日。
 注4) 大麦で2回目の防除を行う場合、薬剤の使用方法（収穫前日数）に特に注意する。

◆網斑病：上位3葉まで病斑を進展させてしまうと、登熟に影響し大幅な減収・品質低下となるので、発生状況に合わせて早めに薬剤散布（チルト乳剤等）を行う。

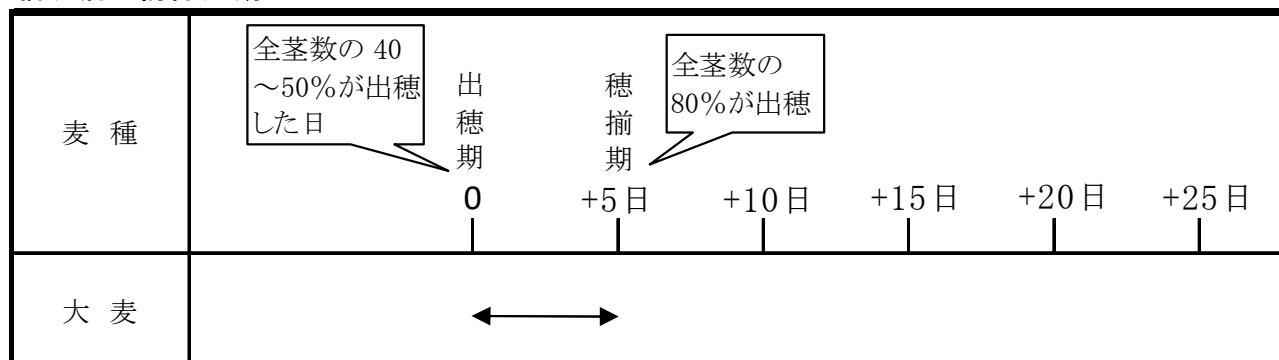
大麦

- ・防除適期は出穂期～穂揃期
- ※ただしこれより早い時期から発生株が散見され、病斑が上位葉に進展している場合は直ちに防除を実施する。



※網斑病が発生した大麦の様子
網目状の茶色い病斑ができ、周縁部は黄化している。

網斑病の防除適期



注1) 出穂期とは全茎数の40~50%、穂揃期とは全茎数の80%が出穂した日。

注2) 矢印は防除適期を示し、薬剤については次表を参照とする。

農薬名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量 (/10a)	使用時期	総使用回数	使用方法
チルト乳剤 25	網斑病	1000倍	60~150L	収穫21日前まで	1回	散布

○参考【農業試験研究センター 出穂期予測】

品種	播種期	年次	幼穂形成始期 (月/日) (平年差)		節間伸長開始期 (月/日) (平年差)		茎立期 (月/日)	出穂期 (月/日)
シロガネコムギ	11/21	本年	1/29	-4	2/16	-1	2/18	未
		平年	2/2	0	2/17	0	2/20	3/31
	12/9	本年	2/20	-3	3/7	+3	3/8	未
		平年	2/23	0	3/4	0	3/8	4/8
サチホゴールデン	12/1	本年	2/11	+4	2/24	-2	3/4	未
		前年	2/7	0	2/26		3/6	3/28
	12/9	本年	2/12	0	2/28	-3	3/9	未
		平年	2/12	0	3/3	0	3/5	4/3

注1) 「シロガネコムギ」、12/9播「サチホゴールデン」の平年値は過去7ヶ年の内収量が最高と最低を除いた5ヶ年の平均

注2) 「サチホゴールデン」の12/1播種はR3年産からの2ヶ年平均

農研機構にて、積算気温等による麦の出穂期予測が公開されています。

詳細は下記 URL を参考ください。

●農研機構：リアルタイムアメダスを用いた麦の発育ステージ予測

http://www.naro.affrc.go.jp/org/warc/meteo_fukuyama/WEB/wheat/index_mugi.html

※3月20日時点のシロガネコムギの予測出穂期

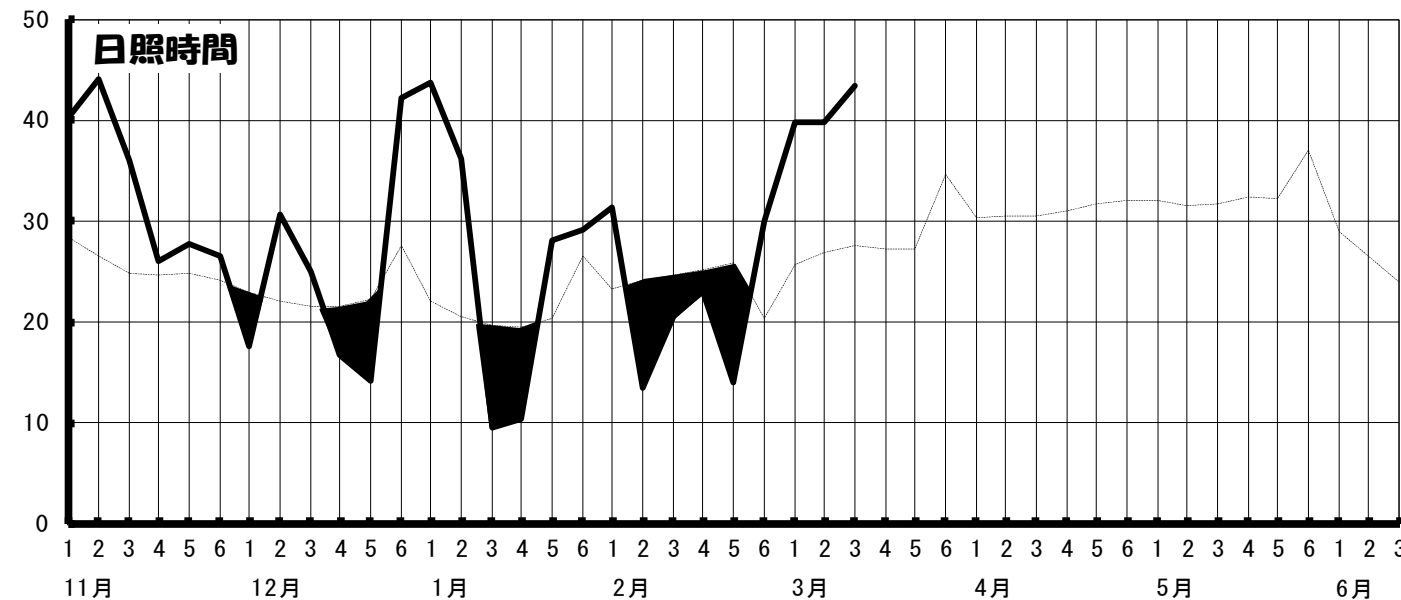
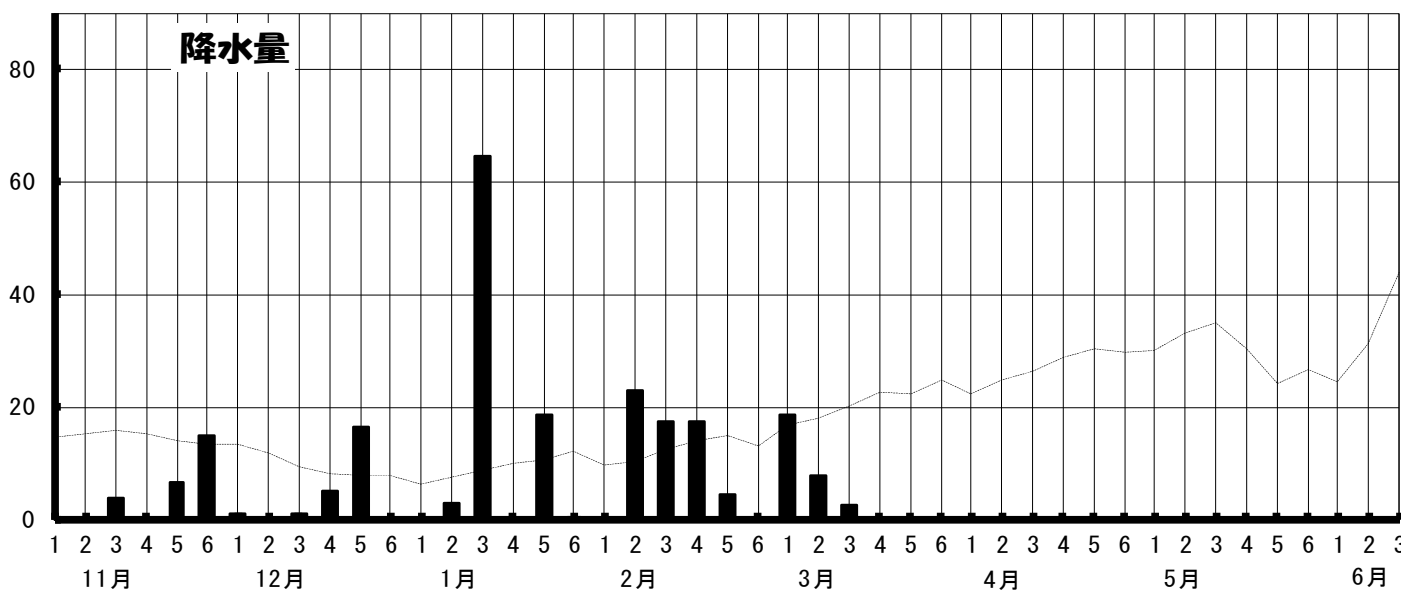
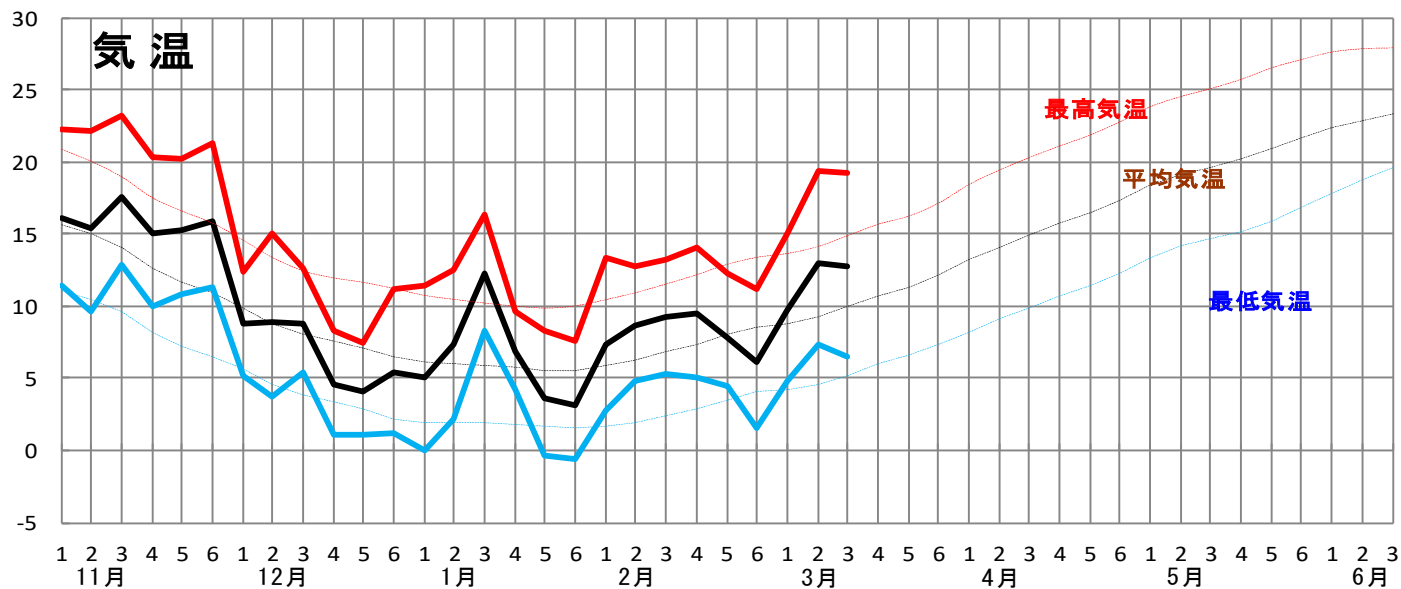
11/20播種：3月23日（平年比-13日）

12/1播種：3月31日（平年比-10日）

令和5年産麦類生育期間気象グラフ

アメダス観測値（佐賀）

佐城農業振興センター



グラフ中の点線は平年値